

第22回 日本陶芸展



《大賞・桂宮賜杯》 加藤清和「藍三彩1301」

日本陶芸展は、あらゆる陶磁器作品を対象とした日本最大規模の公募展です。「実力日本一の作家を選ぶ」というコンセプトのもと1971年に創設されて以来、隔年で開催され、今回で22回目を迎えました。

展示のうち、公募部門は第1部(伝統部門)、第2部(自由造形部門)、第3部(実用部門)に分かれています。審査員は陶芸家ではなく、美術評論家や研究者を主体としており、公平で開かれた審査が特徴です。かつての審査員には川端康成、白洲正子、谷川徹三なども名を連ねていました。

今回は計662点の応募作品の中から、厳正な審査を経て、134点の入賞・入選作品が選ばれました。これに招待部門として重要無形文化財保持者(人間国宝)2人を含むベテランの陶芸作家による15点と、今回は第1回展優秀作品賞受賞者のゲルト・クナッパの追悼作品1点を加えた、計150点の作品を展示します。

伝統的な器から前衛的な作品、実用性を重んじたクラフト作品まで、文字どおり日本の陶芸を網羅する作品展です。日本陶芸界最高水準の美と完成度の競演を、ぜひご覧ください。

開催期間 1月25日(土)～3月9日(日)

観覧時間 午前9時～午後5時(観覧券の販売は午後4時30分まで)

休館日 月曜日

観覧料 高校生以上600円(480円)、中学生以下無料

※()内は前売り、高浜市内在住者および20人以上の団体料金

※75歳以上の方、各種障がい者手帳を持っている方ほか、各種割引あり

※観覧券は当館のほか刈谷市美術館(前売のみ)、チケットぴあ、サークルKサンクス、セブンイレブンでも販売(1月24日(金)まで前売料金、会期中は当日料金)(Pコード766-002)

主催 高浜市やきものの里かわら美術館、毎日新聞社

後援 文化庁、愛知県教育委員会、高浜市、高浜市教育委員会、高浜市観光協会、NHKプラネット中部、名古屋鉄道株式会社

特別協賛 TOTO



《準大賞・日本陶芸展賞》畑石修嗣「Rin」



《優秀作品賞・毎日新聞社賞》坂本章「緑釉掛分組鉢」



《優秀作品賞・文部科学大臣賞》石嶋哲彦「N-FLOWER」